

〈 全国家計構造調査 〉 年収・貯蓄等調査票の記入のしかた

調査票の提出方法についてご不明な点がある場合は、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。

月

日 ()

午前

午後

時

分ごろ

〈連絡先〉

()

お願い

記入にあたっての
留意点

- 記入いただいた内容についての秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入していただくようお願いいたします。
- 記入が終わりましたら、もう一度内容を確認め、別にお配りした封筒に入れて、調査員にお渡しください。
- 調査票に記入もれなどがあった場合は、確認のため市区町村からおたずねすることがあります。
- 数字で記入する欄は、「数字の記入例」のように **罫** の枠内に1文字ずつ、右詰 で記入してください。
- 記入には**黒の鉛筆又はシャープペンシル** を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。ボールペンや万年筆は黒色でも使用しないでください。
- 調査票第1面及び第2面ともに、金額は千円の位を四捨五入して、1万円単位 で記入してください。
- 該当しない項目や数値がマイナスになる項目については、「0万円」とは記入せず、空欄のまま としてください。(Ⅲ欄を除く。)
- 2019年10月末日現在の世帯の状況で記入してください。

A 毎月支給される本給、扶養手当、役付手当のほか、超過勤務手当、出来高歩合金、賞与・その他の臨時収入などを含めた勤め先からの収入総額(税込み)を記入してください。事業経営のかたわら勤めている人の場合、その勤め先からの収入もここに記入してください。

B 売上高から、仕入高、材料費、人件費、事業税、固定資産税などの経営上の諸経費を差し引いた純益を記入してください。

C 賃貸住宅やアパートなどからの過去1年間の家賃収入、地代収入額などを記入してください。

D **国民年金、厚生年金、共済年金及び恩給**の年間受給額を記入してください。

E ●雇用保険からの給付(失業給付、育児休業給付など)、**児童手当、生活保護**などが該当します。
●児童手当については、世帯の受給額の合計を「①世帯主」欄に含めて記入してください。

F 厚生年金基金、企業型確定拠出年金などの年間受給額を記入してください。

G 国民年金基金、個人年金保険、財形年金貯蓄などの年間受給額を記入してください。

H 預貯金、株式、債券、保険などから得た過去1年間の利子・配当金を記入してください。ただし、株式などの売却によって得た収入は含めません。

I (1)～(10)欄以外の過去1年間の収入を記入してください。また、その収入の名称を〔 〕に記入してください。

J ●米、野菜、魚、卵などの自家産物や、自分の店の商品を、過去1年間に家計で消費した分のおおよその見積額を記入してください。
●定期券などを現物で支給された場合は、その年間見積額を記入してください。ただし、現金で通勤手当を受け取って定期券を購入している場合は、「(1)勤め先からの年間収入」欄に含めて記入してください。
●年間収入には、もらい物は含めないでください。

K 世帯主、世帯主の配偶者以外の世帯員で、65歳未満の人は③、65歳以上の人は④の欄にそれぞれ該当する人の年間収入額の合計を記入してください。③・④欄には、世帯主及び世帯主の配偶者の分は含めないでください。

L 単身赴任や出稼ぎなどで不在の家族からの仕送り、ほかの世帯の方からの養育費の受け取りなどについて記入してください。

I 年間収入について

あなたの世帯の過去1年間(2018年11月から2019年10月まで)の収入(税込み)はだいたいどれくらいになりますか。

- 収入のある各世帯員について収入の種類ごとに金額を記入してください。
- 世帯主は、名目上の世帯主ではなく、一緒に住んでいて、かつ「**家計上の主たる収入を得ている人**」としてください。
- 「**家計上の主たる収入を得ている人**」が3か月以上不在の場合は、世帯員の中から代表者を選び、世帯主としてください。
- 他の世帯員は、③、④のそれぞれ該当する世帯員の合計を記入してください。
- だれの分かはっきりしないものは、世帯主の分に含めて記入してください。
- 退職金、土地・家屋、株式などの財産売却によって得た収入及び相続した預貯金など一時的な収入は除いてください。

収入の種類	①世帯主		②世帯主の配偶者		他 の 世 帯 員	
	③65歳未満	④65歳以上				
(1) 勤め先からの年間収入 〔単身赴任、出稼ぎなどで不在の家族からの収入は、Ⅱに記入してください。〕※1	363万円	52万円	20万円			
(2) 農 林 漁 業 収 入 ※2						
(3) 農林漁業以外の事業収入 ※2				64万円		
(4) 内 職 などの年間収入 ※2						
(5) 家賃・地代の年間収入 ※2	13万円					
(6) 公 的 年 金 ・ 恩 給				79万円		
(7) 社会 保 障 給 付 金 (公的年金・恩給以外) 〔雇用保険からの給付金、児童手当、生活保護など〕	18万円					
(8) 企 業 年 金 受 取 金						
(9) 個 人 年 金 受 取 金				15万円		
(10) 利 子 ・ 配 当 金			4万円			
(11) そ の 他 の 年 間 収 入 〔名称を具体的に記入してください〕						
(12) 現 物 消 費 の 年 間 見 積 額 (自家産物・自分の店の商品)	5万円					

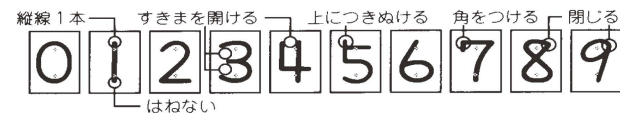
II 仕送り金について

あなたの世帯が過去1年間(2018年11月から2019年10月まで)に親族などから仕送りしてもらった額、親族などに仕送りをした額はだいたいどれくらいになりますか。
※単身赴任の家族などから仕送りをしてもらった額も(1)記入してください。

(1) 親族などから仕送りをしてもらった額	(2) 親族などに仕送りをした額
6万円	

数字の記入例

枠からはみ出したり、小さすぎたりしないように注意し、はっきりと記入してください。

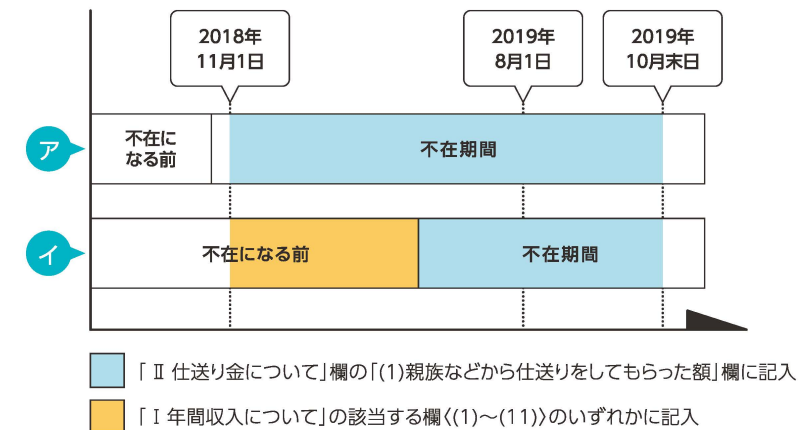


家計上の主たる収入を得ている人が
3か月以上不在の場合の仕送り金について

単身赴任や出稼ぎなどで不在の家族からの仕送りなどについては、下記⑦・⑧のように記入してください。

ア 2018年10月末日以前から長期不在で、
2019年10月末日も引き続き不在の場合
「Ⅱ 仕送り金について」欄の「(1)親族などから仕送りをしてもらった額」欄に、過去1年間の受取額を記入してください。

イ 2018年11月1日以降に不在となり、
2019年10月末日も引き続き不在の場合
不在となった以降の分は、「Ⅱ 仕送り金について」欄の「(1)親族などから仕送りをしてもらった額」欄に記入します。一方、不在になる前については、「Ⅰ 年間収入について」の「他の世帯員」欄の該当する欄(1)～(11)欄のいずれかに記入してください。



調査票の記入内容は、統計をつくるためだけに使うもので、その他の目的に使われることはありません。

※「統計法」により、調査員をはじめ調査関係者が調査により知り得た事項を他に漏らすこと、調査票を徴税など統計をつくる目的以外に使用することは固く禁じられています。

調査の内容、調査票の記入のしかたなどについてわからない点がございましたら、調査員が訪問した際にご質問いただくか、右記のコールセンターにご連絡ください。

総務省統計局全国家計構造調査コールセンター おかけ間違いのないようにご注意ください。

☎ 0570-55-0852 受付時間: 午前8時～午後10時(土・日・祝日もご利用になれます)

*固定電話からおかけになった場合は、全国一律市内通話料金でご利用になれます。
*携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、03-6626-0960におかけください。(この場合、通常の通話料金がかかります。)